

事業名		代表者 所属	NPO法人 地球年代学ネットワーク (jGnet)
17 KJ-002	赤磐市を地球科学する	代表者	乙藤 洋一郎
		開催地	赤磐市周匝周辺
		助成金額	16万円
活動概要	<p>日時 2017年8月10日</p> <p>場所 赤磐市周匝周辺</p> <p>対象 赤磐市小中生、中教研赤磐・加賀支部理科部会教諭、</p> <p>参加者(人) 493人 内訳(小中生 443人 小中高の先生他; 71人)</p> <p>内容 ●ペルム紀 ●三畳紀 ●白亜紀(硯石層)●白亜紀流紋岩・石英斑岩貫入岩 ●新生代第三紀層の山砂利層 の観察</p>		

事業の目的・ねらい

赤磐市周辺には、ペルム紀から新生代第三紀までの地層が積み重なっている。ペルム紀・三畳紀は、地球史上最大の生物絶滅が起こった時期に当たる。そして赤磐市周辺には日本列島では極めて珍しく、ペルム紀・三畳紀に大陸棚で堆積した堆積層が分布している。これらの地層を、小学校や中学校の生徒に観察させることを本事業の目的とした。「将を射んとする者はまず馬を射よ」と考え、まず赤磐市の小学校・中学校の理科教諭に地層観察をしていただいた。さらに岡山大学教育学部の学部生・大学院生とともに地層観察の巡検も行った。赤磐市立城南小学校の生徒をつれて、ペルム紀～新世紀第三紀層の地層の巡検を行った。

事業の概要

① 「夏の巡検」

実施:2017年8月10日

参加者・・中教研赤磐・加賀支部理科部会 (中学校教諭 11名、小学校教諭 15名)

② 「防災教育」

実施:2017年10月21日

参加者・・赤磐市立高陽中学校 生徒(1年生～3年生 327名; 教諭 32名)

③ 「地域地質巡検」

実施:2017年11月15日

参加者・・赤磐市立城南小学校 生徒(6年生 21名; 教諭 2名)

④ 「地域地質巡検」

実施:2018年2月10日

参加者・・岡山大学教育学部 准教授 1名、学部学生 3名;

岡山大学理学部 修士学生 3名; 愛知大学経営学部 准教授 1名

⑤ 「出前授業 日本は2本」

実施:2018年3月8日

参加者・・赤磐市立高陽中学校 生徒(1年生3クラス 95名; 教諭 3名)

⑥ 巡検路の調査…12回

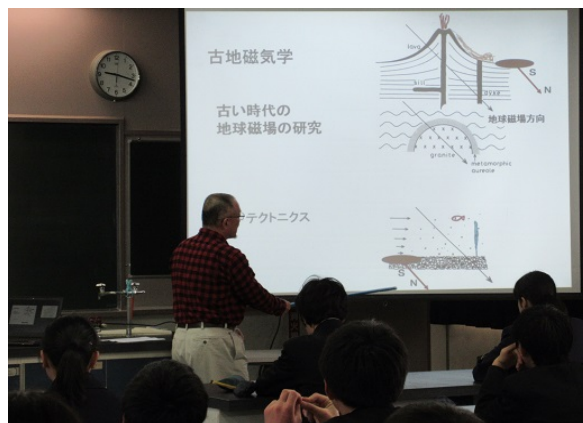
成果・効果

地球史上最大の生物絶滅が起こった時期に形成されたペルム紀・三畳紀の地層の前で、生物絶滅のストーリーを語ると、小学生はもとより、小学校・中学校の教諭の方が、突然地層に興味を持ち始めるのがよくわかった。地層の紹介だけでは興味を持っていただけないが、地球史上最大の生物絶滅のストーリーを語れば、地層を観察する人々の興味がわき起こることが分かり、ストーリーの大切さがよく理解できた。巡検に参加した小学生は、彼らが住んでいる場所が、日本の面積の0.96%しか占めない古生層の中のペルム紀層であることを知ると、彼らは彼らの生活空間に俄然誇りをもつようになった。しかしながら、ペルム紀は恐竜が出てくる以前の地層であると話すと、心なしか、がっかりした顔にもなった。

「防災教育」「出前授業」では、幾人かの生徒が適格な質問をしてくれ、講師の講演をよく聞いていることが分かった。



防災教育（高陽中学校）



出前授業：日本は2本（高陽中学校）



地域地質巡検（城南小学校）